

オンライン弓道大会 実施要項（案）概要

1. 目的
全競技をオンライン上で実施することで、新型コロナウイルス感染症に対応した新たな弓道競技会の方法に関する知見を、全日本弓道連盟及び加盟団体間で獲得・共有する。また、参加団体間における弓道競技力の向上及び相互の親睦を図る。
2. 主催 公益財団法人全日本弓道連盟
3. 期日 令和3年3月21日（日）
4. 会場
大会本部：全日本弓道連盟事務所（JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE内）
競技実施場所：主催者と各参加団体間の取り決めによる全国各地の弓道場
※大会本部及び各会場は、Web会議システムを用いてオンライン上で接続します。
5. 競技種目 近的競技
6. 競技種類 団体競技
7. 競技内容 的中制（立射・直径36cm霞的）
8. 競技日程
3月21日（日）
8：30～ 各会場間との通信確認
9：00～ 開会式（大会本部から各会場に対してオンライン上で行います。）
9：15～ 予選
10：30～ 決勝トーナメント1回戦（4試合）
11：30～ 決勝トーナメント準決勝（2試合）
11：45～ 決勝トーナメント決勝（1試合）
12：00～ 閉会式（大会本部から各会場に対してオンライン上で行います。）
9. 競技方法
チーム編成：5人立
予 選：各自4射×2回、計40射。各会場で一斉に行射を行う。的中数上位8チームを、決勝トーナメント進出とする。
決勝トーナメント：各自4射、計20射。1試合ずつ行う。合計的中数の多い方が勝ち。同中の場合は、1本競射を決着がつくまで行う。
10. 表彰 優勝から3位に、本連盟より賞状を授与する。（賞状は大会後に郵送する）
11. 参加資格
 - (1) 選手は、所属する都道府県弓道連盟会長の認証を受けた者であること。
 - (2) 各都道府県弓道連盟から、団体競技1チームとする。
 - (3) 「弓道競技規則」に則った近的競技を5人立で行える会場を大会当日に確保できること。
 - (4) Web会議システムを用いたオンライン弓道大会を実施できる環境が、(3)の会場に備えられること。
12. 参加料
無料（但し、参加に伴う通信機器の整備、通信料、会場使用料は各地連で負担すること。Web会議システムのホストは大会本部で用意する。）

※上記要項は、オンライン弓道大会の実施要項（案）です。実施が決まった場合、改めて競技方法等を記した詳細な実施要項を後程お送りいたします。内容は、変更の可能性があります。

オンライン弓道大会実施会場のイメージ

大会本部と各会場は、Web会議システム（Zoomを利用予定）を用いてオンライン上で接続します。開会式及び閉会式を含めた全ての競技をオンライン上で行います。

各会場において、通常の弓道競技大会に加えて必要となるものは、インターネットに繋がるパソコン・スマートフォン・タブレット端末のうち、いずれかを最低限3台ご用意ください。用意した端末にカメラ・マイク・スピーカーが付いていない場合は、別途端末に接続できるものをご用意ください。

他会場の様子や的中を映し出せるプロジェクター・スクリーンあるいは大画面テレビがあれば、より試合の臨場感を出すことが可能となります。プロジェクター・スクリーンあるいは大画面テレビについては、各会場において準備可能であれば使用していただくことを想定しています。



写真1. タブレットを用いての撮影例

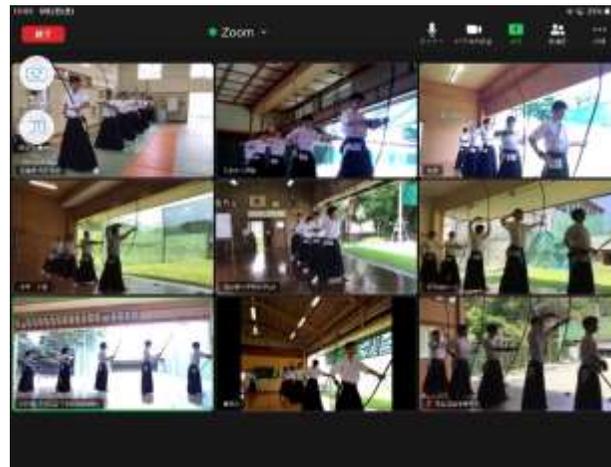


写真2. Web会議システム上で複数会場を繋いだ際の表示例



写真3. 射場に設置した大画面テレビ設置・表示例

- オンライン弓道大会の開催が決定した場合、参加を希望する地連においては、オンライン弓道大会実施に向けた「オンライン大会担当者」を設置していただきます。当日の開催に向けた通信環境の準備及び運営の打ち合わせを、事前に当連盟事務局の担当者との間でWeb会議システム・メールによる会議によって行います。
- オンライン大会担当者は、情報通信機器の取り扱いに慣れ、これまでWeb会議システム（Zoom、Teams、Skypeなど）とGoogleスプレッドシートを使用したことがあり、LINEを常用している方をお願いします。
- 参加のための通信機器の整備に伴う費用、通信料などは、各地連での負担をお願いします。当連盟からの補助はありません。
- オンライン大会の実際の開催の様子は、2020年12月19-20日に実施された第68回全日本学生弓道選手権大会（オンライン開催）を参考までにご覧ください。下記リンクからご覧いただけます。

https://youtu.be/74d_G1w3kfA